

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵局支部  
機関紙「みらい」  
NO. 4512  
25年1月7日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

# 春闘討論集会開催

おはようございます。

12月22日(日) 勤  
労福祉会館で長崎県春闘  
共闘会議の春闘討論集会  
が開催され、山田支部長  
が出席しました。

集会は山岸長崎県共闘  
議長の挨拶でスタートし、  
その後、清岡全労連副議  
長の講演へと移りました。  
講演では、賃金に触れ、  
「実質賃金は一時的にプ  
ラスに転じたが夏以降は  
またマイナスになってい  
る。最低賃金の地域間格  
差は212円となってい  
て、昨年より8円縮小し  
たものの、年間の格差は  
38万円となっている。  
その差を埋めるためにも  
全国一律の最低賃金制度  
の確立と最低賃金150  
0円以上を要求しなけれ  
ばならない。人手不足、  
人口減少の元凶は低賃金  
中小企業支援が重要。最  
低生計費試算調査の取り

組みとアップデートを全  
国的に取り組んでいき  
たい」と述べられました。  
続いて馬場春闘共闘事  
務局長が「25春闘方針」  
の基調として

- 1, すべての労働者の大幅賃上げ、底上げへ、ストライキを背景にたたかおう
- 2, 統一闘争と地域春闘の強化でたたかう労働組合の本領発揮を
- 3, 「対話と学び合い」労働組合のバージョンアップで仲間を増やして勝利する
- 4, 最低賃金全国一律性と1, 500円以上の実現、最低規制強化
- 5, 労働時間の短縮、労基法解体を許さず改善をめざす
- 6, 「非正規春闘」と非正規労働者の組織化



7, ジェンダー平等推進、あらゆるハラスメントや女性差別の根絶をめざす

8, 戦争反対、憲法改悪をとめて平和をつくるの8項目について提起されました。  
休憩を挟み集会参加の組合からの特別報告へと移りました。



## 自治労連(公共交通労組)

長崎県営バスの職場では、2024年の働き方改革とは名ばかりで前年と変わっていない。  
職場には人手不足で60歳を超えている運転手は多くいる。体力的にもキツイ中で同じように命を預かる仕事をさせられている。しかし、給料は60歳以前と比べ再雇用扱いで10万ほど下がり、モチベーションアップは下がる一方。

2024春闘では賃上げ率は7, 8%を求めてきたかった。要求実現に向けてストライキを準備して各部門から1〜2名程度で時限スト、指名ス

## 民医労

2024春闘では賃上げ率は7, 8%を求めてきたかった。要求実現に向けてストライキを準備して各部門から1〜2名程度で時限スト、指名ス

ストライキを目標に取り組むことを確認。ストライキ学習会を開催するなど事前の準備を行った。  
団体交渉では、ベースアップの実施の明言を求めたが「現時点は約束できない」とベースアップの実施の明言がなかったため指名ストを決行。16名がストライキに入った。マスコミ3社が取材に来て、NIBや朝日新聞で取り上げられた。

組合員にはストライキを配置して団体交渉の大切さを伝え2025春闘での要求前進を勝ち取るため奮闘していきたい。



## ラフコープ労組

組合員への生活実感アンケートの結果では、2025春闘での賃金引き上げの要求額の平均は月給者3万4941円、パートなどで働く時給者は162円となった。要求実現の為に今年もストライキができる準備をしている。

働きやすい職場にするためにはどうしたらいいか、皆で意見を出す場として職場集会(労組カフェ)を開催している。

①わたしが25春闘で実現したい要求②わたしの組合でここをアップデートしたいと思うこと、その二つのテーマについて意見を出し合いました。

その後全体討論として、各グループの代表者が自分の感想やグループ内で出た意見などを発表しました。  
発表後、馬場春闘共闘事務局長が今集会のまとめの答弁を行い、最後は山岸長崎県共闘議長長の団結カンパローで締めくくりました。

※ ※ ※  
郵政ユニオン

長崎中郵局支部旗開き  
恒例支部旗開きを一月一日(土) 一八時から長崎県婦人会館(桜馬場)にて開催いたします。  
お誘いあわせの上ご参加ください。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を尊重の正社員化を。

めざせ、均等待遇、ななくそ差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！

